

8 仮面ライダー辰之進 たつのしん その一

たつのしん

辰之進は、仮面ライダーだ。

平和を守るため、悪の軍団と戦っている。

しかし、辰之進には、困ったことがひとつある。

忘れ物が多いのだ。

つい先日、悪の軍団が出現したというので出動したのだが、いざ戦うぞとなったとき、変身ベルトを家に忘れたことを思い出したのだ。

問 辰之進の「困ったこと」とは何ですか。「うこと。」という形で答えましょう。

こと。

9 仮面ライダー辰之進 たつのしん その2

悪の軍団と戦うとなったときに、変身ベルトを忘れたときは

① 最悪だった。

辰之進 たつのしんは、変身ベルトがなければ仮面ライダーに変身できない。
目の前にいる敵 てきが、変身ベルトを取りに帰るのを待ってくれるわけもなく、戦いは始まった。

辰之進は、変身しなくてもけっこう強い。変身ベルトは忘れたけど、生身の人間のままでもなんとかなるかなと思った辰之進は、
「ま、いっか。」

と思いつながら戦っていた。

しかし、仮面ライダーのパワーがないため、戦いが続くうちに敵に押されるようになった。このままではやられてしまう。やはり、生身の人間のままでは、悪の軍団を倒すことはできない。

その時、たまたま通りかかった先輩ライダー せんぱいが変身して戦ってくれた。②そう、正義の味方は、ピンチになると必ず助けがやって

てくるものだ。おかげで、なんとか敵 たおを倒すことができた。

敵を倒したあと、辰之進は、先輩ライダーに一時間以上の

せつきょう

③お説教をくらった。

「お前さあ、オレがいなかったら今ごろ死んでるよ？変身ベルト
忘れるとか死にたいの？」

先輩ライダーの言葉が辰之進の胸にぐさぐさと刺さる。辰之進

は、今回ばかりは深く反省はんせいした。

問ー 下線部①「最悪だった」のはなぜですか。「くから。」とい
う形で答えましょう。

から。

問2 下線部②のような考え方を「〇〇主義」と言いかえることが
あります。ふさわしいものを選びましょう。

ア ひよりみしゅぎ 日和見主義

イ じだいしゅぎ 事大主義

ウ つごうしゅぎ ご都合主義

エ こと しゅぎ 事なかれ主義

問3 下線部③「お説教をくらった」のはなぜですか。合うもの
を選びましょう。

ア 敵と戦うときに、変身ベルトを忘れて、敵に待ってもらっ
たから。

イ 敵と戦うときに、変身できなくて逃げ出したから。

ウ 敵と戦うときに、変身ベルトを忘れて、変身できなかった
から。

エ 敵と戦うときに、遅刻ちこくして間に合わなかったから。

ここは宇宙船レグルス2号の船内ミーティングルーム。

のりくみいん

乗組員のジョージ、キリル、マテウスはテーブルを囲むように

かこ

座り、深刻な表情を浮かべている。

しんこく

「食料が、いつまでもつって?」

キリルが酒を瓶からラツパ飲みしながら聞く。

びん

「だから、あと三日だって言ってるだろ。しかも、おれの好物の
ピザはもう一枚も残ってない。」

おれの好物

ジョージは、ややいら立っているようだ。

マテウスはパネルを操作しながらジョージに尋ねる。

そうざ

たず

「一番近い補給基地まで何日かかる?」

ほきゆうきち

「さっき計算したら、一番近い補給基地まで十日かかる。さあ、
みんなどうする?」

「飢え死にしないね。」

うじ

マテウスが首を振りながらお手上げのポーズをとった。

問1 この三人の気持ちを次のようにまとめました。()

にあてはまる言葉を選びましょう。

食料が3日分()。

ア もあるので安心だ

イ しかないので困っている

ウ だがなんとかなる

問2 「飢え死に」という言葉を熟語で言いかえると「がし」になります。どうやって書くでしょう。

ア 餓死 イ 飢死 ウ 蛾子 エ 画紙

―― 宇宙船レグルス2号 その2

食料が3日分しかないにもかかわらず、補給基地まで十日かかることが判明はんめいしました。

のりくみいん
乗組員のジョージ、キリル、マテウスが、レグルス2号のミーティングルームで話をしています。

マテウスは、酔っ払いのキリルではなく、ジョージにずっと話しかけています。しかし、このジョージという男も、性格は明るくてよいのですが、適当てきとうすぎて頼りになりません。

マテウスが真剣にどうしようか考えて、色々なアイデアを話すが、ジョージは

「①ま、なんとかなるっしょ。」

と言うので、だんだん腹がたってきます。②こんなやつら、本当に飢え死にしちゃえばいいのにと思うことさえあります。

「SOS信号にも誰も反応してくれないしなあ……」

マテウスがため息まじりに言うと、

「え、SOS信号？」

とジョージがすっとんきょうな声で反応はんのうしました。

問1 下線部①のように、ジョージはマテウスほど事態を深刻に
とらえていません。こういう性質のことを「らっかんてき」と
言いますが漢字で書くとどうなるでしょう。ヒントを参考にし
て書きましょう。

()

悲 的 敵 楽 落 感 観

問2 「らっかんてき」の反対の言葉を「ひかんてき」と言いま
す。問1のヒントを参考にして書きましょう。

()

問3 下線部②は、誰が思ったことでしょうか。

ア キリル イ ジョージ ウ マテウス エ 辰之進 たつのしん

12 白髪のおじいさん その一

「くそつ、くそつ……まじでムカつく。あの女、まじでムカつく。」

小品川くんが海辺を散歩さんぽしていると、声が聞こえてきます。

声がする方に目をやると、そこには白髪のおじいさんが体育座りをしながら地面の砂をドスドスとたたいています。

白髪のおじいさんは、折り目のすつと通った和服わふくを着ていて、

この海岸の散歩人かいがんとしては、少し風変りな①出で立ちです。そし

て、座っているおじいさんのかたわらには、ふたが開けられた

黒塗りの木箱くろぬ きばこが転がっていました。

「くそつ、まじでムカつく、まじでありえんわ」

おじいさんは、見た目には似合わない若者言葉わかものことばで、何かをのしり続けています。

不思議ふしぎに思った小品川くんは、ちょっと怖いけど声をかけてみました。

「あの……おじいさん?」

すると、真っ赤な目に涙をうかべたおじいさんが、小品川くんの顔をしばらくじっと見つめた後、ぼそりと言いました。

①「やっぱり、おじいさんに見えるよな……」

②「どうかしましたか？」

③「どうもこうもねえよ。まじありえねえよ。あの女、ぜったいにゆるさねえ！」

とても悔し^{くや}そうにおじいさんが地面の砂をドスドスします。

④「よければ、お話を聞かせていただけますか？」

⑤「ぶもっふえええ」

おじいさんは、わけの分からない声を上げてしゃくりあげながら、

⑥「聞いてくれるっていうのかい？」

とすがるように言葉をしぼり出しました。

⑦「ええ、私でよければ」

小品川くんは、おじいさんがなんだか^{きどく}気の毒な目にあつたに違いないと思いました。

問1 ①～⑦の会話文は、それぞれ誰が言った言葉でしょうか。
小品川くんなら「小」、おじいさんなら「お」のように書きましょ
う。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | (|) | ② | (|) | ③ | (|) | ④ | (|) |
| ⑤ | (|) | ⑥ | (|) | ⑦ | (|) | | | |

問2 — 線部①、「出で立ち^い」とほぼ同じ意味を表す言葉を、
本文中から三文字で書き抜きましょう。

()

13 白髪のおじいさん その2

砂浜に、小品川こしながわくんと白髪しらがのおじいさんが並ならんで体育座りをしています。

「あ、おれ太郎ってんだ。シクヨロ。」

と言って小品川くんの顔の前に拳こぶしを突き出しました。

「あ、ども。小品川です。」

小品川くんも拳を出して、グータッチをします。

おじいさんの言葉づかいが、けっこうチャライので、①小品川

くんは笑いをこらえるのが大変です。

すると、おじいさんは突然、ヒップホップのリズムに乗って語りはじめます。

「まじ、何から話せばいいんだっつうストーリーー

話せば長くなるっしょアイムソーリー

はしょって話すのまじむーリー

だから、お前覚悟かくごする必要あーリー」

「あの……」

「え?」

「ヒップホップじゃない感じでお願いできますか?」

「あ、すまねえ。②ついクセでさ。つうか、この和服まじ『やばみさわしんご』だろ」

おじいさんが、両袖を^{りようそで}広げて小品川くんの方に体を向けます。

「ええ、よくお似合いです。」

さっきまで泣いていたおじいさんの顔に、少し笑顔がさしました。

問1——線部①、小品川くんが、笑いをこらえたのはなぜですか。()にあてはまる言葉を文中から書き抜き書きましよう。

おじいさんの言葉づかいが()から。

問2——線部②、白髪のおじいさんの「クセ」とはどんな「クセ」でしょうか。

ア どんな和服もかっこよく着こなしてしまう。

イ 気がついたら鼻をほじっている。

ウ ヒップホップ調で語り始めてしまう。

エ メガネをクイックイットやる。

15 なんでもや仁五郎 じんごろう 井戸の亀吉 いど かめきち その一

「大変だあ、大変だあ」

仁五郎が、部屋でアごろごろしていると、半兵衛が大声を上げながら長屋の路地に入ってきた。半兵衛は、何か事件が起こると、いつもそうやって仁五郎のところへかけてくる。今日も、やや建付けの悪い仁五郎の部屋の戸をイがたがた言わせてぐっと開けると、

「兄貴、大変だ！」

と仁五郎に向かって叫ぶ。

「落ち着け、半公！うちの戸がぶっ壊れちまう。まずは落ち着いて水でも飲みねえ。」

仁五郎が言うと、半兵衛は肩で大きく息をしながら、かめの水をひしゃくでゴクゴク飲んだ。仁五郎は、ウいらいらすると半兵衛のことを「半公」と呼ぶくせがある。

「で、今日は何だい？」

仁五郎は上半身をよっこらしよっと起こしながらたずねた。

「かかかか……あにき、あにき、かかかか……」

半兵衛は、①ここまで走ってきた動悸がまだ収まらないようで、
どもってばかりである。

「おい、半公。ちったあ落ち着いてしゃべりやがれ。かかかか
って、蚊にでも刺されやがったのか？」

半兵衛は相変わらずガフガフ言いながらももっていたが、よう
やく息がととのったのか、

「かかか亀吉の野郎が、いい井戸に落っこちたんでさ。」

「亀吉っていやあ、たしか魚屋の定松さんとこのせがれかい。」

「そう、その亀吉なんですがね。なんでも丸林の古寺で近所の
子供たちと遊んでて、ふざけて井戸に落っこちたらしいんです

よ。幸い枯れ井戸だったもんで、亀吉の声は聞こえるんです
が、どうにも周りの大人の②（ ）に負えないようで……」

「で、おれんところに声がかかったってわけかい。」

仁五郎は、気合をいれるように右手で自分の膝をパチンと打っ
て立ち上がり、奥の部屋に入ってござござしていたかと思うと、

道具箱とぐるぐる巻いた丈夫な縄を持って出てきた。

問1 ———線部①について、半兵衛の様子を表したものとして当てはまるものを選びましょう。

ア 走ってきたので、だらだらと汗がとまらない。

イ 走ってきたので、すっかりさわやかな気分である。

ウ 走ってきたので、まだ心臓がどきどきしている。

問2 亀吉のお父さんは誰ですか。

ア 仁五郎 イ 半兵衛 ウ 定松 エ 定吉

問3 ———線部②は、「どうしようもない、処置に困る」という意味になります。()に当てはまる漢字一字を答えましょう。

()に負えない

問4 この文章では、擬音語ぎおんご(音を表す言葉)をカタカナで書いています。——線部ア～エのうち、カタカナで書くものを選びましょう。

()